

寛永行幸四百年祭 開幕記念講演会

～「美のかたちと空間—寛永という時代」を4月19日に開催～

- 寛永行幸四百年祭実行委員会（事務局：京都府）では、4月に開幕する「寛永行幸四百年祭」の機運醸成を目的とした様々なイベントを実施しています。
- 開幕記念イベントとして、いまでも社会に息づく「美意識」が400年も前にどう生まれたかなどを、作品を通じて探る講演会を開催しますので、周知と取材をお願いします。

1 日時

令和8年4月19日（日）13時～16時30分（12時15分開場）

2 場所

ANA クラウンプラザホテル京都（京都市中京区堀川通二条下ル土橋町10番地）

3 内容

- ・「寛永の雅 — “きれい,”という美意識の誕生と展開」

講師：柴橋^{しばはし} 大典^{だいすけ}（サントリー美術館主任学芸員）

寛永文化を構成する王朝文化・武家文化・民衆文化の結節点を明らかにし、「きれい」という美意識がどのようにして形成され、共有されていったのかを、具体的な作品を通してお話しいたします。

- ・「華麗なる寛永行幸の舞台～模型復元が解き明かす二条城寛永天守の実像～」

講師：島^{しま} 充^{みつる}（復元模型作家）

復元模型を通して、公武融和の空間を象徴した二条城寛永天守の特色を立体的に読み解き、城郭建築のひとつの到達点としての二条城の位置づけや行幸における「殿主叡覧（天皇が天守を御覧になること）」の意義について、お話しいたします。

※当日は、行幸当時の二条城天守の復元模型を展示予定です。

4 参加方法

専用サイト（Peatix）から申込 ※定員になり次第受付終了

申込期間 令和8年3月16日（月）10時～4月17日（金）正午

URL：<https://kaneibunka20260419.peatix.com>



5 定員

先着200名（参加無料）

6 取材について

取材を希望される場合は、12時50分までに会場受付へお越しください。

7 主催等

主催：寛永行幸四百年祭実行委員会（文化庁連携プラットフォーム内）

共催：一般社団法人 Living History KYOTO

協力：ANA クラウンプラザホテル京都

【参考】

○ 寛永行幸

寛永3年（1626年）9月に大御所・徳川秀忠と3代将軍・徳川家光の招きに応じた後水尾天皇による二条城への行幸。当時最大級のイベントであり、書物や絵巻などで記録に残され、後世に語り継がれてきた。

○ 寛永行幸四百年祭実行委員会

「寛永行幸四百年祭」の実施を通じた「寛永行幸」及び「寛永文化」の普及・啓発や二条城の新たなブランドの確立等により、京都をはじめとする日本の伝統文化の継承や担い手の育成、伝統産業の振興等をつなげ、「文化と経済の好循環」を実現し、その全国のモデルケースを創出することを目的とし、文化庁連携プラットフォーム内で組織した団体。

○ 文化庁連携プラットフォーム

文化庁京都移転の意義の実現に向けて、文化庁との連携による新たな文化政策の展開や、世界に向けた日本文化の発信等を行政、経済界、文化団体等が一体となって展開し、日本文化の国際的な価値を高めることを目的とし組織した団体。

【本報道発表に関するお問合せ】

文化庁連携プラットフォーム（京都府文化政策室内）

文化生活部副部長兼文化政策室長 梅原 TEL 075-414-4215

文化政策室 企画参事 須田 TEL 075-414-5071



寛永文化は、多様な階層が交わるなかから生まれた、新しい美のかたちでした。

公家、武家、町衆、僧侶といった人々の交流の中で育まれたその美は、

「きれい」という言葉に象徴され、

茶の湯、建築、庭、城郭、儀礼空間へと具体化されていきます。

本講演会では、作品と空間から寛永文化を読み解き、

公武融合がいかにして新たな美意識を生み出したのかを探ります。

四百年前に誕生した文化の構造は、

いまでも私たちの社会に息づいています。

寛永行幸四百年祭 開幕記念講演会

美のかたち と空間

— 寛永という時代 —



仁清白釉円孔透鉢 MIHO MUSEUM蔵

講演1

「寛永の雅

—「きれい」という美意識の誕生と展開—
柴橋大典氏（サントリー美術館主任学芸員）

講演2

「華麗なる寛永行幸の舞台

— 模型復元が解き明かす二条城寛永天守の実像 —
島充氏（復元模型作家）

※会場にて行幸当時の二条城天守の復元模型を展示予定

2026年 4月19日 日

13:00～（開場12:15、終了予定 16:30）

参加費 入場無料（事前申込制・定員200名程度）

会場 ANAクラウンプラザホテル京都
京都市中京区堀川通二条城前
（「二条城前」駅2番出口より徒歩約1分）

<本イベントに関するお問い合わせ>

実行委員会事務局 info@kaneigyoko400.jp
TEL.080-9923-4252（土日祝除く 10:00～16:00）

お申し込みは
Peatixより

受け付けは3月16日（月）午前10時より



寛永行幸

四百年祭の開幕にあたって―

寛永三年(1626)に後水尾天皇が徳川秀忠・家光の招きに応じて二条城に行幸された「寛永行幸」から、四百年の節目を迎えました。全国から大名が集まり、大勢の公家とともに御所から二条城へ向かった行列は九千人を数えたと伝わります。この公武融和を象徴する行列を沿道で見物した民衆は新しい時代の到来を実感したことでしょう。そして寛永期は、後水尾天皇という類まれな文化人を中心に、文化を通じて社会が結びつき、さらには経済や産業とも大いに関わりを深めていきました。

寛永行幸は単なる歴史的儀礼ではなく、その後の日本をかたちづかった一つの装置ではないか。そう考えてこの史実を振り返ると、現代の文化、社会、経済、産業の在り方を編み直す大きなヒントを与えてくれます。

講演会や展覧会、そして時代行列とさまざまな「しかけ」をご用意しました。

四百年前の江戸時代最大級の出来事が令和のいま、よみがえります。



寛永行幸四百年祭 開幕記念講演会

美のかたちと空間

―寛永という時代―

2026年 4月19日(日)

12:15 開場

13:00 主旨説明

13:10 講演①

「寛永の雅―「きれい」という美意識の誕生と展開」
柴橋大典氏(サントリー美術館主任学芸員)

14:40 ティーブレイク

15:00 講演②

「華麗なる寛永行幸の舞台
～模型復元が解き明かす二条城寛永天守の実像～」
島充氏(復元模型作家)

※会場にて行幸当時の二条城天守の復元模型を展示予定

16:30 終了予定



「二条城寛永天守復元模型」考証・制作 島 充

講演① 「寛永の雅―「きれい」という美意識の誕生と展開」

寛永文化を構成する王朝文化・武家文化・民衆文化の結節点を明らかにし、「きれい」という美意識がどのようにして形成され、共有されていったのかを、具体的な作品を通してお話します。

柴橋大典氏 (サントリー美術館主任学芸員)

1983年大阪府生まれ。東北大学大学院で日本美術史を専攻。専門は近世の絵画・工芸史(狩野派・土佐派・歌絵・尾形乾山など)。2018年に同美術館にて寛永文化をテーマとする展覧会「寛永の雅―江戸の宮廷文化と遠州・仁清・探幽」を企画した。



講演② 「華麗なる寛永行幸の舞台

～模型復元が解き明かす二条城寛永天守の実像～

復元模型を通じ、公武融和の空間を象徴した二条城寛永天守の特色を立体的に読み解きます。城郭建築のひとつの到達点としての二条城の位置づけや、行幸における「殿主叙覧」の意義を改めて考えます。

島充氏 (復元模型作家)

1982年福岡県生まれ。城郭・古建築模型作家。慶應義塾大学卒業。古写真や絵図の緻密な考証に基づく圧倒的写実表現で知られる。熊本城や広島城など復元模型を多数手掛け、2023年に日本城郭文化特別賞を受賞。



「寛永行幸四百年祭」を応援したい！

実行委員会では、寄付などを募集しています。
皆さんも歴史に参加しませんか。

基金で応援

京都文化交流コンベンションビューロー
「寛永1626基金」で
寄付を募集しています。

ふるさと納税で応援

京都府の
企業版ふるさと納税による
寄付を募集しています。

連携・認定事業で参加

「寛永」をテーマにした独自事業や関連行事を
実施していただける企業・団体を募集しています。
お問合せ：info@kaneigyoko400.jp



詳細はこちら



主催 寛永行幸四百年祭実行委員会

(文化庁連携プラットフォーム内)

<https://kaneigyoko400.jp/>

共催 一般社団法人Living History KYOTO

協力 ANAクラウンプラザホテル京都

最新情報は
公式HP・SNSで
チェック！



公式HP



FACEBOOK



Instagram



X

絵：「二条城行幸図屏風」部分 江戸時代(京都市指定文化財 泉屋博古館蔵)